山口市長2期目の市政執行状況

活力あるまちの
『ちから』
市民力を生かした
『都市経営』

みんなで『夢、実現』

私の政策

『市民力とまちの特性を生かし
幸せを実感できるまち』をめざす

みんなが幸せを感じる
『ちから』
安心・安全な
『都市経営』

平成２２年１２月

千歳市

「市民力とまちの特性を生かし幸せを実感できるまち」の実現に向けて

2期目初登庁（H19.4）

～3つの活力と3つの安心～

市民の皆さんの負託をいただき、千歳市長として二期目の任期が経過しようとしています。

この間、米国の金融市場の混乱に端を発した世界経済の急速な冷え込みと円高により、国内の景気や雇用情勢は悪化し、内需・雇用・個人消費の低迷やデフレ・円高の進行等が依然として続いている現状にあり、また昨年９月の政権交代により、予算の組み替えなどが行われるなど大きな変革の時期を迎えたところであります。

向陽台小学校「あおぞら学級」の児童が手作りの作品を届けてくれました。

行政刷新会議「事業仕分け評価結果」に対し自衛隊の体制維持を求め政府に声明発表（H21.12道庁）

市民のみなさんと

こうした中で、私は、厳しい経済環境への対応をはじめ、米軍再編に係る千歳基地への訓練移転や自衛隊削減問題への対応など、さまざまな難題に直面し、市長としての使命とその責任の大きさを改めて痛感した４年間でありました。

今後も、少子高齢化の進行を背景とした社会保障費の増加や公共施設の維持補修費の増大等とともに、厳しい経済情勢など、先行きは大変難しいものと判断しております。

私は、市民の様々な営みから生まれる活力、まちの特性・優位性をもとに活発な事業活動による活力、すなわち「市民力」と「都市力」を最大限に活かしながら、ふるさと千歳の発展を持続させていくことこそ、与えられた使命であると強く認識し、９万３千市民が「千歳で生まれ、住んで良かった」と真に思える郷土づくりを目指し、全力を尽くしてまいりました。

【健全な財政運営】

１期目に引き続き財政健全化対策に取り組み、平成１７年度から平成２１年度までの５年間に見込まれた収支不足の財源対策は、目標に掲げた１１６億円に対し約９億円を上回る１２５億円余りの結果となり、見込まれた収支不足を解消することができました。

これも市民の皆さんのご理解とご協力によるものであり、心から感謝申しあげます。

この改善された財政収支バランスを維持し将来にわたって安定した財政運営を図るため、平成２１年度に財政運営の基本方針となる「千歳市財政標準化計画」を策定いたしました。

今後は、この計画に基づき、土地開発公社の経営健全化とともに健全な財政と安定的な財政基盤の確立を図ってまいります。

千歳市長　山口 幸太郎
（平成15年４月27日市長就任）

「きふ・とも」開始（H22.1）

【市民協働の推進】

市政運営の大きな柱である市民協働については、平成１９年４月に施行した「みんなで進めるまちづくり条例」に基づき、平成１９年度を市民協働実行元年、平成２０年度を市民協働定着年、平成２１及び２２年度を市民協働充実年と位置付け、協働事業の実施や市民参加手続きの整備、市民自らが市民団体を応援する定額自動寄付制度「きふ・とも」の創設などに取り組んできたところであり、市民が主体となったさまざまな活動を通じて、市民協働の輪が着実に広がってきているものと実感しております。

【米軍再編訓練受入れ】

米軍再編に伴う訓練移転につきましては、国防への協力、沖縄の負担軽減、そして防衛施設とともに発展してきたまちづくりの経過などを踏まえ受け入れを決断し、平成２０年２月に第１回目、平成２０年１２月に第２回目、平成２１年４月に第３回目の訓練がそれぞれタイプⅠ訓練として実施され、本年１１月にはタイプⅡの訓練が行われたところであり、これまで事件・事故もなく無事終了していることを安堵しております。

本年１１月には「在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係自治体連絡協議会（再編協）」を設立し、関係自治体と連携しながら課題の共有を図ることといたしました。

今後とも、市民の皆さんへ速やかに情報の提供を行うとともに、国へ協定順守を求めるなど、引き続き市民生活の安全・安心の確保に努めてまいります。

米軍再編訓練の騒音測定（H22.11）

自衛隊体制維持決起大会（H22.5）
左から山口市長
伊藤義郎会長
高橋知事
石井道議会議長

「新たな時代の安全保障と防衛力に関する懇談会」勉強会で発言（H22.3）

北澤俊美防衛大臣への要望（H21.11）

【自衛隊体制維持活動の取組】

まちづくりの根幹に影響する自衛隊削減問題に対しては、市独自に積極的な運動を行う必要があることから、全市的な活動組織として平成１９年１１月に「千歳市における自衛隊の体制維持を求める期成会」を設立し、以後、「北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会（駐屯地連協）」などの活動と連携を図りながら取り組みを行ってまいりました。

千歳市内や札幌における総決起大会や中央における決起大会開催のほか、政府や国会議員への要望活動などを精力的に行い、地域の実情を訴えてまいりました。また「北海道の自衛隊体制維持を求める署名活動」では、本市におきまして３万６，４０５筆もの署名が集まり、市民の皆さんの関心の高さを実感したところであります。

その後、政権交代により「防衛計画の大綱」の見直しや「次期中期防衛力整備計画」の策定が１年先送りされたことから、改めて新政権に対し要望活動を展開してまいりました。

「防衛計画の大綱」の見直しや「次期中期防衛力整備計画」については近々閣議決定される予定であり、来年度予算の動向も含め注視しているところであります。

この問題は、本市にとりまして重要な問題でありますことから、今後も積極的に取り組んでまいります。

【新長期総合計画の推進】

千歳市の将来都市像の実現に向け、平成１３年度を初年度とする新長期総合計画「２１☆千歳きらめきプラン」については、今日の社会情勢や財政状況等の変化を踏まえ、公約との整合を図りつつ、その着実な推進に努めてきたところであります。

また、平成２３年度から新たにスタートする「千歳市第６期総合計画」の策定にも取り組み、人口減少社会の到来によって今後は人口の大幅な伸びが期待できないことから、平成３２年度における将来人口を９万５千人としたところであります。

本市の大きな財産である市民力を生かした「市民協働によるまちづくり」を基本理念に掲げ、「みんなで生き生き　活力創造都市ちとせ」を将来都市像とした基本構想案を取りまとめ、現在、議会に提案しているところであります。

ほくよう児童館の子どもたち

ちとせっ子未来フォーラム
市内小中学生3,600名が集結！
（H20.5）

はたちのつどい

千歳市の50歳を祝う会で
（市民のみなさんが企画・開催）
（H20.9）

市制施行50周年記念行事
（H20.9）

【未来に向けた取組】

私の任期中、当市の歴史の１ページとなる大きな出来事がありました。

一つは昭和３３年７月１日に市制を施行してから50周年の節目を平成２０年度に迎え、記念式典をはじめとする「市制施行50周年記念事業」を実施いたしました。先人が時を重ねて守り育ててきた貴重な財産を大切に継承し、市民協働による未来への更なる発展・飛躍に向けて、まちづくりに全力を傾注することを改めて決意したところであります。

もう一つは、「Ｊ８（ジュニア・エイト）サミット２００８千歳支笏湖」が支笏湖の雄大な自然の中で平成２０年７月に開催されました。会議の成果として出された「千歳宣言」は、気候変動や地球温暖化といった、将来を担う子どもたちに関わる提案であり、Ｊ８サミットの開催は、市内の子どもたちや受入れを行った本市にとりましても大きな意義を持つものとなり、全市挙げての受入れが、会議の成功を支えたものと考えております。

私は、少子高齢化の進展著しい現代社会においては、誰もが安心して暮らせるまちを実現するためには、市民ひとりひとりが活力を持ち、その市民力を生かしたまちづくりを進めることが重要であると考え、これまで市政に取り組んでまいりました。

市民協働（市民力による市民協働）
「J8サミット」ボランティア通訳（H20.7）

J8サミット「ちとせナイト」

市民との対話・情報共有「出前講座」

「千歳市青少年非行防止総ぐるみ運動・社会を明るくする運動」街頭啓発（H22.7）

現在、当市では市民活動が活発に行われており、市民の皆さんの主体的な取組は、これまで市政運営の大きな柱として進めてきた「市民協働」が着実に広がってきているものと思っております。

本格的に人口減少社会が到来する中にあって、本市は北海道では数少ない人口増加都市であり、平均年齢も一番若いまちであります。支笏湖や千歳川など豊かな自然に囲まれ、国際空港、自衛隊、工業団地など、まちの発展を支えるさまざまな「特性」や「優位性」があり、これが本市の活力となっています。

私は、残された任期を通じて、市民の皆さんが郷土千歳で心豊かな生活を送ることが出来るよう、また、かけがえのない子どもたちの未来を築くために、これからも「みんなで、夢実現」に向かって、邁進する覚悟であります。

これからも市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

支笏湖・氷濤まつりPR
（東京都内）H22.11

支笏湖湖水開き湖上安全祈願祭
（H22.4）

1期目：H15.4.27～H19.4.26
2期目：H19.4.27～現在に至る

公約への取組

充実したまちづくりを推進するため山口市長就任１期目に引き続き「３つの活力」と「３つの安心」を柱とした施策を展開することとし、その中で重点的かつ効果的に取り組む「重点施策」として平成２０年度からは「子育て・教育」、「安全・防災」、「環境」、「人材育成」、「企業誘致」、「観光振興」の６つを位置づけ、選択と集中により、公約の達成に取り組んでまいりました。

各施策につきましては、次ページをご覧ください。

達成	４９項目	(64.5%)
一部達成	１３項目	(17.1%)
取組中（達成見込み）	８項目	(10.5%)
小計（一部達成を含め達成）	７０項目	(92.1%)
取組中（国、道）	６項目	(7.9%)
合計	７６項目	

取組中の6項目は道立養護学校の誘致、新千歳空港滑走路延長、自衛隊地方協力本部の誘致などです。

勇舞中学校（富丘中学校分離校）
（H24.4開校予定）

誘致企業の開所式
（1期目就任から45社を誘致しました。）

子育て総合支援施設
ちとせっこセンター（H21.4）

（3つの活力）

千歳市民納涼盆踊り大会
（H22.8）

●経済の活性化･雇用の拡大

活力ある地域経済の確立に向けて、企業誘致活動を積極的に行うとともに、借上げ市営住宅の整備などにより街なか居住を促進し、中心市街地の活性化に取り組んでまいりました。また、まちの活力に大きな影響を与える自衛隊削減問題については、国への働きかけなど様々な活動を展開してまいりました。

本年３月には、新千歳空港国際線旅客ターミナルビルが供用開始されましたが、国外からの観光客増加に弾みをつけるものであり、今後、本市の観光振興や経済活性化に繋がる取組を進めてまいります。

借上げ市営住宅（H22.1）

- **中心市街地の活性化**
  - チャーミングロードの整備（ニューサンロード）
  - 空き店舗対策の推進
  - 借上げ市営住宅整備（H22.1月）
  - グリーンベルトの活性化に向けた再整備（H21～）
- **地域性を生かした交流事業の推進**
  - 陸上練習コースマップの作成配布、スポーツ合宿団体への体育施設利用料金の減額
- **光科学技術産業の支援**
  - ホトニクスワールドコンソーシアム（ＰＷＣ）及び千歳科学技術大学の取組支援
- **観光の振興**
  - 支笏湖ポロピナイ地区の休憩所建替（H20.4月）
  - 支笏湖ヒメマスの漁業権取得（H20.3月）
- **グリーン・ツーリズムの促進及び地産地消の推進**
  - 施設整備への助成実施
- **公共工事の早期発注と地元企業の育成**
  - 上半期85％の発注を毎年度実施
  - 元請下請適正化要綱の制定による地元企業の活用推進
- **企業立地の促進**
  - 積極的な企業誘致
    - H19:8社、H20:12社、H21:10社、計30社立地
    - 工業等振興条例の改正（H22.3月）
  - 企業振興融資制度の改正
    - H20:「小口企業資金」を新設、H21: 要綱改正による融資条件等の緩和
  - 千歳市地域産業活性化基本計画策定（H22.2月）

千歳科学技術大学
創立10周年（H20.6）

石狩管内第1位を誇る
「千歳市の農業」（産出額）

立地企業によるコラボレーション
「おいしさ千歳産」

防災学習交流施設
Cゾーン現地確認
（現場で議論）

千歳市・食と農の交流会（H22.2）

・**雇用対策**

若年層の雇用機会の確保（緊急雇用対策としてH21.1月に臨時的任用職員の募集実施）
障がい者の雇用機会の拡大（H18～）
緊急雇用対策事業の実施（H20～）

・**自衛隊と市民が共存・共栄するまちづくり（自衛隊体制維持活動の取組）**

自衛隊記念行事（北部方面総監部）H22.10

署名活動

安全保障と防衛力に関する懇談会で発言（首相官邸）H21.9

自由民主党　細田博之幹事長に要望（H20.11）

首相官邸に22万筆の道民の声を署名として提出（H21.5）

千歳基地開庁記念行事【航空祭】（H22.8）

自衛隊体制維持総決起大会

防衛大臣からの感謝状（H20.10）

北澤俊美防衛大臣と北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会会長・副会長（H22.10）

・**道路の整備**

市道整備（南2号道路、東7線道路、東8線道路ほか）
道央圏連絡道路の整備促進（H22.12:寿IC～祝梅IC～中央IC間6.7kmの供用開始予定）
空港インターチェンジの設置促進（H22:環境調査、用地買収ほか、H25:供用開始予定）

・**新千歳空港国際線旅客ターミナルビルの建設促進（H22.3月供用開始）**

北海道経済の飛躍！
新千歳空港国際線旅客ターミナルオープン式典（H22.3）

●市民協働のまちづくり・市役所改革

「みんなで、ひと・まちづくり基金」を造成し、市民協働事業の着実な推進に取り組むとともに、市民の皆さんの地域における活動を支援するため、花園コミセンの建設着手や町内会館整備などを行ってまいりました。

また、指定管理者制度など民間活力を積極的に導入するとともに、管理職の人事評価導入など職員の意識改革に努め、市役所改革を進めてまいりました。

・市民協働事業の推進

市民協働事業の推進（H21：フォローアップ制度の導入）
みんなで、ひと・まちづくり基金の造成
（H19及びH20に各5,000万円積立）
市民活動支援のための定額自動寄付制度
「きふ・とも」の創設（H22.1月）

市民による交通安全（市民協働）

・地域コミュニティづくりの推進

花園地区コミュニティセンターの整備着手（H21:基本設計及び調査、H22:実施設計、H23～24:工事、H24年度内に供用開始予定）
コミュニティセンターの改修（H21:中心街、H22:北新、北信濃）
町内会館整備及び町内会備品整備の充実（H21～）

再編交付金などを活用した
町内会館等の整備

・市役所改革の推進、効率的な行政運営の推進

市民参加手続きの運用指針及びパブリックコメント手続き運用マニュアル策定（H20）
指定管理者制度による公共施設の運営管理の推進
浄化センター・校務作業等への民間委託導入
権限委譲によるパスポートの申請受付業務の開始
職員定数の適正化推進
人事評価制度の導入

町内会との懇談

シルバー展（市民力の高さを誇る千歳）

地域との対話

市長室に多くの市民の方々にお越しいただきました。

市民との情報共有「100回を超えた出前講座」

●財政の再生

財政破綻という最悪の事態を回避し、将来に向けた足腰の強い財政基盤を構築するため、これまで財政健全化対策に取り組み、市民の皆さんのご理解とご協力により収支バランスの改善が図られたところです。今後は、少子高齢化の進行による扶助費など社会保障費の増加や公共施設の維持補修費の増大等が見込まれるほか、厳しい経済情勢の影響など先行きを見通すことが大変難しい状況となっております。

多様で安定的な市民サービスを提供し、持続可能な都市経営を実現するため、平成２２年度以降の財政運営は、「千歳市財政標準化計画」に基づき、改善された収支バランスを維持、継続しながら、健全な財政運営の推進と安定的な財政基盤の確立を図るとともに、引き続き土地開発公社の経営健全化に取り組んでまいります。

また、各自治体共通の行政課題に対し、地域特性を活かしながら効果的・効率的な行政運営を図るため広域行政の推進に取り組んでまいりました。

- **財政健全化対策の実施による収支バランスの改善（～H21）**
- **千歳市財政標準化計画の推進（H22～）**
- **広域行政の推進**

  南空知公衆衛生組合から可燃ごみの暫定受入れ

  消防救急デジタル無線広域化の共同整備、消防広域化の協議

  （千歳市、恵庭市、北広島市）

  札幌広域圏組合等における事業展開

職員研修（職員との課題共有）

政策会議（政策審議・検討）

国会議員との意見交換（地域主権の実現）

職場発表会
（職場間の連携、課題共有）

職員との昼食会（職員との対話）

（3つの安心）

●福祉・医療の充実

市民の皆さんが心身ともに健康で、生きる喜びを実感しながら暮らしていけるよう、医療体制の充実に努めたほか、市民の日常の足となる公共交通機関の確保や、高齢者・障がい者への支援に取り組んでまいりました。

・庁舎のバリアフリー化（本庁舎西口エレベーターの設置、身障者案内看板設置など西口周辺の整備）

・高齢者福祉の充実

小規模多機能型居宅介護施設への運営支援
（H19:1カ所、H21:1カ所）

「千寿園」の新築移転に向けて民間移譲を実施（H21～）

高齢者火災報知器の給付（497世帯に実施）

・医療体制の充実

市立千歳市民病院改革プランの推進（H20～）

ちとせ健康・医療相談ダイヤル２４の開設（H21.4月）

市内産婦人科医院の開院支援（H21）

子ども医療費助成を実施

高齢者のインフルエンザ予防接種助成の継続

・障がい者自立支援給付金制度の創設

・住宅環境の充実

市営住宅の整備

いずみ団地:1号棟及び2号棟がH21完成、3号棟がH23完成予定

みどり団地:1号棟がH22完成

シルバーハウジングの整備及び生活援助員の派遣

道営住宅やまとの杜団地:H21に35戸完成し入居済み

北栄団地:H20に24戸、H21に6戸、計30戸完成

・バス路線確保対策補助等の充実

千歳市地域公共交通会議設置（H19）

補助限度額を1路線300万円から600万円へ引上げ（H19）

ビーバス停留所の増設（H21）

長寿のお祝い（100歳）
（高齢者の方々へのさまざまな施策）

産婦人科「マミーズクリニックちとせ」
H22.4オープン（地域医療の確保）

障がい者授産施設で作られた商品の販売などを支援

千歳市健康まつり

●子育て・教育の充実

子どもたちが、元気で生き生きと成長するとともに、安心して子どもを生み育てられるよう多様な保育サービスの提供や子育て支援策の充実に取り組んでまいりました。

また、児童・生徒の良好な教育環境を確保するとともに、活発なスポーツ活動ができるよう施設の整備に努めてまいりました。

- 不審者等情報配信システムの導入（緊急・防災情報、安全・安心情報、不審者情報などをメール配信）
- ほくよう児童館の開設（H22.4月、なかよし学童クラブ及びにじいろ学童クラブを同時開設）
- 「放課後こども教室」の実施（H21～、北栄小学校）
- 民間保育所における休日保育事業の実施（H21～）
- 子育て総合支援センター開設（H20.4月）
- 市立保育所の民営化
  千歳保育所の民営化（H20.4月～）
  真々地保育所の民営化に向けた取組（H24.4月実施予定）
- 子育て支援ホームページの開設（H20.10月）
- 乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業の実施（H19.11月～）
- 新生児訪問事業の拡大（H19から全戸訪問実施）
- 奨学金の支給額及び支給枠の拡充（H21～）
- 勇舞中学校の開校に向けた取組（H22:実施設計、H22～23：工事、H24.4月：開校予定）
- 北陽小学校の増築（H20.4月）
- スクールカウンセラー配置校の拡充（中学校7校、小学校6校に配置）
- 特別支援教育体制の充実（児童生徒ヘルパー、特別支援教育支援員等の充実）
- 道立養護学校（特別支援学校）誘致に向けた取組
- 学校図書の整備充実
- 旧長都小中学校の活用（H22.4月に埋蔵文化財センターとしてオープン）
- スポーツ施設の充実
  市民球場の施設整備（H19）
  スポーツセンターのリニューアル（H21：調査、H23：実施設計、H24～25：改修工事、H26：リューアルオープン予定）

子育て支援「児童館オープン」（H22.4）

子育て総合支援センター「ちとせっこセンター」

特別支援教育の推進
（北進小中学校授業参観）

各分野で活躍しているたくさんの子どもたちが市長に報告に来られました。

●環境・防災の充実

地球的視野に立った環境保全対策として、温室効果ガス排出削減の推進や「千歳市循環型社会形成推進施策２０」に基づく取組を進めてまいりました。

また、さまざまな災害から市民の生命、財産を守り、安心して暮らせるための環境づくりや基盤整備に鋭意取り組んでまいりました。

- 廃棄物破砕処理施設の整備（H23秋の稼働開始予定）
- 循環型社会形成の推進（推進施策２０の取組）
- 温室効果ガス排出削減への取組（「チャレンジ２５キャンペーン」「エコ・カレッジ」「ＥＣＯちとせ」の普及拡大）
- 住宅防音対策等の促進
- 共同受信施設のデジタル化対応（H21.12月から屋外アンテナ設置助成など実施）
- 市民防災学習交流施設の整備（H22.4月:Ａゾーン及びＢゾーン供用開始、H23:Ｃゾーン供用開始予定）
- 自主防災組織の結成支援、災害時要援護者名簿の整備
- Ｃ経路の整備（拡幅、耐キャタ舗装、緩衝緑地帯）
- 電線類地中化の推進（国道36号錦町地区、国道337号駅前～国道36号）
- 学校耐震化改修工事（H19: 高台小学校、青葉中学校、H20: 日の出小学校、信濃小学校、 H21:千歳小学校、桜木小学校、H22:末広小学校、千歳中学校）
- 千歳川治水対策の推進
- 北千歳駐屯地急傾斜地対策の着手（H22～）
- 高機能消防指令センターの更新整備（H21～22）
- 雨水滞水池の建設（H20～）

防災拠点「そなえーる」オープン（H22.4）

在日米軍再編に係る訓練移転
（安全対策など万全な体制で対応）

総合防災訓練

「世界にとどけ！ちとせっ子からの環境メッセージ」H20.7

各種環境イベント

自主防災組織救急救命訓練

●主な記念行事等

山口市長二期目の就任の平成１９年４月からは、本市の歴史において節目となる年を記念した各種行事や姉妹都市との交流行事のほか、全国から多くの来訪者をお迎えするなど、さまざまな行事・イベントが開催されました。

本市の魅力を全国にアピールする絶好の機会になったものと考えております。

J8サミット

- 「２００８ふゆトピア・フェアｉｎ千歳」（H20.1月）
- 市制施行５０周年記念行事（H20）
- 「ジュニア・エイト・サミット２００８千歳支笏湖」（H20.7月）
- 千歳命名２０５年・戸長役場開庁１３０年記念式（H21.3月）
- アンカレジ市との姉妹都市提携４０周年及び姉妹都市子どもサミット（H21.7月）
- 支笏洞爺国立公園指定６０周年記念事業（H21.8月）
- 「ねんりんピック北海道･札幌２００９」（千歳市:ボーリング大会、H21.9月）
- 日中韓３カ国環境大臣会合（H22.5月）

ふゆトピア

ねんりんピック北海道
常陸宮殿下･妃殿下をご案内

支笏洞爺国立公園指定60周年

アンカレジ市姉妹都市提携40周年事業
（ダン･サリバン市長、ミスと姉妹都市委員長）

アラスカ世界情勢協議会例会
山口市長英語で30分の講演
（アンカレジ市ヒルトンホテル）

日中韓3カ国環境大臣会合

小沢鋭仁環境大臣と高橋知事と支笏
国際太鼓ジュニアのみなさんと

友好親善都市「中国　長春市」訪問

市制施行50周年記念行事

温故知新
「戸長役場開庁130年記念式」

穂積雅子選手バンクーバー五輪
銀メダル！『千歳市民栄誉賞贈』(H22.3)

前原誠司国土交通大臣と新千歳
空港国際線旅客ターミナルで
(H22.3)

支笏湖アキヒメ温玉ライス(H22.4)

松本大輔
防衛大臣政務官

防衛施設周辺整備全国協議会会長
として挨拶する山口市長(H22.11)

G8サミットのため来日した
ジョージ・ブッシュ米国大統領
(H20.7)

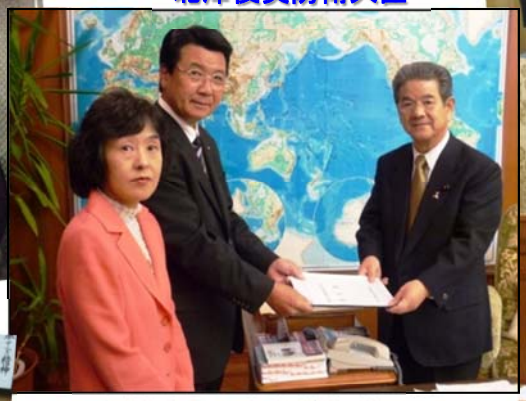
消防査閲(総監)

To The Honorable Kotaro Yamaguchi
With best wishes,

町村信孝衆議院議員

新千歳空港24時間問題協議(道庁)

北澤俊美防衛大臣



高橋はるみ北海道知事

長妻昭民主党筆頭副幹事長

平野博文衆議院議員

〒066－8686　千歳市東雲町2丁目34番地
千歳市役所　企画部秘書課　連絡先：0123(24)0491(ダイヤルイン)
メールアドレス：hisho@city.chitose.hokkaido.jp

平成22年12月1日発行

※ご不明な点などがございましたら、上記までお問い合わせください。